

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年 5月29日

長野地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	8	課題区分	A			
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	長野地域振興局環境課
事業名	ごみ減量に向けたもったいない意識の醸成事業				電話	026-234-9533
					E-mail	nagachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	長野地域管内住民の「もったいない」意識の更なる向上を図り、訪れたく・住みたくなる持続可能な地域社会の環境を構築する。				
	現状と課題	しあわせ信州創造プランに掲げる『1人1日当り一般廃棄物排出量を800g以下』との目標に向けた「チャレンジ800」ごみ減量推進事業の取組等により、本県は836g(H27実績)と2年連続全国一少ない県となったが、長野地域は約900gにとどまっているのが現状である。この現状を脱却し、更なる削減を達成するためには、ごみ減量に意識の高い関係者のみならず、市町村、市民団体、企業の協働を図るとともに、信州の明日を担う世代の「もったいない」意識向上が重要である。				
	内容 (変更後の内容)	(1)食品ロス削減に関する県民フォーラムの開催…全国的な動向や先進的な取組、管内で活動する市民団体のこれまでの取組や今後の方向性を垣根を超えて共有する場を提供する。 (2)小学生向けもったいない教育の展開…小学生を対象に食品生産に必要なエネルギー、食品ロスの実態等の環境教育を展開し、児童及びその保護者を含めて食品に対するもったいない意識の高揚を図る。 (3)食べ残しを減らそう県民運動…飲食店を紹介する地域版フリーペーパー上で「残さず食べよう30・10運動」を広報し、宴会における食品ロス削減の意識を啓発する。				
	事業期間	平成29年6月 ～ 平成29年12月				
	成果目標	・長野地域管内住民への「もったいない意識」の定着と次世代への継承 ・1人1日当りの一般廃棄物排出量(長野管内895g(H27実績))の低減				
事業費等	事業費	785634 円				(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更計画額 b	実績額 c	差引 b-c
	8報償費	講師謝金	52,000	117,300	117,300	0
	9旅費	講師旅費	87,000	16,160	16,160	0
	11需用費	事務用品	15,000	0	0	0
	12役務費	広告掲載料	767,000	628,560	628,560	0
	14使用料	使用料	42,000	23,614	23,614	0
計		963,000	785,634	785,634	0	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・長野地域ごみ減量県民フォーラムを市町村や市民団体から約90名の参加を得て開催 (H29.08.28)。 ・長野市と共同で小学生向け「もったいない意識のきっかけ作り講座」を夏休み期間中計12回・約500名に対して実施。 ・『Hot Pepper』(約4万部)及び『FREE BOOK(約3万部)上で「残さず食べよう30・10運動」及び「ごみげんねっ」と広報を掲載。 		<ul style="list-style-type: none"> ・長野地域ごみ減量県民フォーラムは、市町村及び市民団体の協働・参加のもと、幅広い年代に向けて食品ロス削減を意識し、理解を深めてもらう機会となった。 ・「もったいない意識のきっかけ作り講座」は、児童とその保護者が食べ残しを減らし、もったいない意識を持つきっかけとなった。報道機関にも取り上げられPR効果もあった。 ・フリーペーパーによる広報については、県事業でもある「30・10運動」及び「チャレンジ800」と連携のもと、暑気払い、忘年会シーズンに実施することにより食品ロス削減を広く周知することができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	<p>家庭から排出される生ごみや事業者から排出される食品廃棄物の再資源化を進め、地域の特性や循環資源の性質に応じた最適な規模の循環(地域循環圏)を形成することにより、地域の処理状況等に応じた3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を定着させるとともに、「チャレンジ800ごみ減量推進事業」を一層推進し、長野地域における1人1日当たりのごみ排出量のさらなる削減により、3年連続で達成した「ごみ減量日本一」の継続を目指す。</p>					